

スタジオパパを退任に関して

藤ノ木 拓磨

いつもお世話になっております。

この度、株式会社フォーアースリングスの代表を退任することとなりました。私の退任の後を継ぐのは田中盛栄(モリエ)になり、また、副社長には長谷川友香(はせびー)が引き続き行います。

新代表のモリエは、現在のスタジオパパメンバーの中では最古参で、スタジオをつくと決めた初期に誘ったメンバーです。会社立ち上げ時期から一緒につくりあげてきた仲間で、大学入学前の浪人時代を含めると、10数年間の仲になります。僕が知る限りでは彼以上に子どもに対して情熱を持つ人はいないんじゃないかというくらいに勉強熱心で探究者です。今のスタジオパパの哲学や雰囲気もモリエがいなかったらつくられていなかったのではないかと思えるくらい、中心的人物です。僕がいた時代から変わらずこれからもスタジオパパの源として組織の中心に立ってくれると思っています。また、組織内での求心力やリーダーシップ、視座も非常に高く、素直に自分よりも適任だなあとと思っています。

どうして代表を退任？—————

結論から申しますと、総合的に判断して決断させていただきましたが、あえてあげるとすれば、「株式会社フォーアースリングス(スタジオパパ)をどういう会社にしていくか」という未来を自分の中で描けなくなってきたというのが大きいです。

私は学生時代から事業の立ち上げが好きで、(学生中はスタジオパパ以外にもデザイン請負い事業、喫茶店風絵画教室、アートスクールを立ち上げたり)現在の会社も新しい習い事を作りたい、子どもが大はしゃぎできる場所をつくりたいという目の前の純粋な気持ちから作った会社でした。しかし事業が立ち上がり黒字化もされ、改めてこの先何がしたいのか考えたとき、自分の中でビジョンを正直描けなくなっていました。僕が大きなビジョンを描けなくなり始めてからも、メンバーからはさまざまなビジョンが溢れてきていました。そういう様子を見ていると、これは僕がいなくても大丈夫だなと思えるようになっていきました。

もちろん、「飽きたから」や、「つまんなくなった」からなどそういった気持ちは微塵もありません。「会社がベストな状態をキープし続けること」が会社のベストであり、会社を手放さず所有し続けたいという気持ちも創業時からありませんでした。6年間会社を運営してきて自分の気持ちに対して昔よりシビアになった時、スタジオパパの代表として進み続けることが、どうしても自分や会社にとってベストな道だと確信しきれず、気持ちに誠実にいようと思った結果、退任という選択をさせていただくことになりました。

今後の自分—————

なんだかさくっと概要のみ書いてしまいましたが、まだまだ言い足りないことや、説明不足なところがあるかもしれません。全てを書き出すと何がなんだか分からなくなりそうなので、一旦僕の今後についてお話ししたいと思います。僕は次の起業をしたいと思っています。分野は障害福祉です。教育関係から福祉へ異業種への大転換ですが、ずっと興味があった分野であり、かといって僕の考え方や今まで培ってきた経験や知識が大いに役に立ちそうな仕事です。今年度中に準備

し、来年初めごろには事業開始予定です。またこちらの詳しいお話も追ってご報告させていただきます。

今後のスタジオパパパ—————

代表交代するからと言って、スタジオパパパの何かが大きく変わるということはないと思っています。すでに社内では体制は切り替わっていて、退任後のスタジオパパパも、より良いサービスへと精進していきます。ぜひ、温かい目で見守っていただけたら嬉しいです。

最後に—————

生徒の皆さま、保護者の皆さま、スタジオパパパに関わっていただいている企業の皆さま、いつも本当にありがとうございます。

皆さまのおかげで、スタジオパパパで出来上がったといっても過言ではありません。いろんなご意見や嬉しいお言葉、子どもたちの喜んだ顔で日々切磋琢磨できました。やっていて良かったなあと励まされる瞬間も何度もありました。

そしてスタジオパパパに関わっていただいた全てのアルバイトの方、社員の皆さま、大変感謝しております。一緒に歩んでいただき本当にありがとうございました。引き続きスタジオパパパを近くで応援し続けますので、困りごとなどあればいつでも相談してもらえればと思います。

今後も新しい挑戦をして、泥臭く仕事をしたいなあという、気持ちです。僕も、これからのスタジオパパパが本当に、楽しみです。ちょくちょくふらっとスタジオに遊びにいきます。引き続き、よろしくお願いします。ありがとうございました。

2023年8月吉日

藤ノ木 拓磨